



# 高橋かつお ニュースレター

(第45号)

《連絡先》 栗原市栗駒稲屋敷金田10-2 TEL/FAX. 0228-45-4249

## 社会新報

発行所  
社会民主党全国連合機関紙宣伝局  
号外 (水曜日発行)  
〒100-8909東京都千代田区永田町1-8-1  
電話代表03(3592)7515・振替00140・1・3203  
●定価180円●1カ月700円●送料160円

私は、6月議会では、「新型コロナ感染拡大防止策の『新たな生活様式』とは」「コロナ対策各支援策の執行状況と防災無線の活用を」「東京電力第一福島原発事故から10年、栗原市内の放射能の現状は」「栗原市の官製談合事件から2年、入札の現状と課題は」の4項目について質問を致しました。

また、国会で、コロナウイルスに係る第2次補正予算が成立した事から会期を6月26日まで延長し新たな支援策も決まりました。

これから、秋から冬にかけて、風邪やインフルエンザに加えてコロナの感染拡大が心配されますが、3密を避けた『新しい生活様式』を一人一人が考え行動しながら乗り越えていきたいと思います。新型コロナウイルス用のワクチンや治療薬の早期開発を求めながら、「皆さんの声・思いを議会に届け、住みよい栗原を創る」という初心を忘れず全力で頑張ります。これからも、宜しくお願いいたします。

### 6月定例議会(6月9日~26日)報告

6月議会では、追加で出されたコロナ対策などを含め8億5370万円の補正予算、鶯沢デイサービスセンターの廃止や低所得者層に対する保険料軽減を図る介護保険条例等の改正。救急車及び消防ポンプ自動車の購入、農業委員会委員(24名)の任命同意、議員報酬及び市長等の給料引き下げに関する条例、コロナ感染症対策に関する支援強化を求める意見書などを全会一致で可決しました。

### 6月補正で可決された主な事業(コロナ対策含む)

- ◎ 地元応援Go湯くりはら温泉7割引キャンペーン  
(対象は利用する代表者が、市民及び市内事業者に勤務する者で、宿泊プラン料金の7割・最高1万円補助。  
利用期間は7月15日(予定)から令和3年2月末、1万人分) ..... 1億0,920万円
- ◎ 地元応援ビジネスホテル等3千円得キャンペーン  
(市内ビジネスホテル・旅館等の宿泊者に対し、宿泊料金1千円割引と食事、土産等のクーポン券2千円配布、  
利用期間は8月1日(予定)から令和3年2月末、1万人分) ..... 3,000万円
- ◎ コロナ対策商品券事業の追加  
(5月臨時議会決定、1世帯5千円に新たに5千円追加で1万円・7月16日(予定・郵便局配布)) ..... 1億3,051万円
- ◎ 情報機器整備事業費の追加 ..... 2億9,977万円
- ◎ コロナ対策学校補助員配置事業(各小・中学校へ) ..... 1,729万円
- ◎ インフルエンザ任意予防接種費用助成(16歳から64歳まで) ..... 2,819万円
- ◎ ひとり親世帯への臨時特別交付金(1世帯5万円・第2子以降1人につき3万円プラス) ..... 6,708万円

### “コロナ騒動”に思う

by アオニサイ

妻 マスクが店頭から消えたのは2月か3月頃だよ。どこに行ってもないんだもの。

夫 そうだったな。4月1日安倍総理が国民全体にマスクを配布すると言ったんだ。

妻 だから喜んだのさ。でもたったの2枚と聞いてガッカリしたんだ。

夫 それにさ。その予算がなんと当初466億かかるというので、税金の使い方が間違ってるんじゃないかと思ったよな。

妻 聞くところによると、側近官僚の思いつきだよ。アベノマスクなどと命名して。コロナを政治利用する功名心はいやらしいよね。

夫 それが今もって(6月1日現在)オレ達の手には渡ってないもの。何やってんだが。

妻 もう店頭で沢山並んでるものいらぬよ。一人10万円がきたら買えばいいんだ。

夫 オレマスク騒動でこんなこと思ったんだ。日本は世界有数の先進工業国だといばってたよな。それなのにマスク如

きの工業生産品が全国の店頭から消えるなんて一体どういことなんだと思ったの。もしこれが食糧だったら大変なことになるんでないか。日本の食糧自給率は37%らしいから、外国からの食糧がストップしたらマスクどころでない危機に陥ると思ったのさ。

妻 そうだよ。今度のコロナ騒ぎでわかったけど、外国依存の経済なんて危機に直面するともろいもんだよね。

夫 オレもう一つ思ったんだ。日本は医療先進国だと思っただけで、人工呼吸器が足りないの、医師の防護服が不足してるの、医療崩壊がおきるのとそんなに日本の医療が弱体なのかとビックリしたんだ。

妻 ほんと。日本のコロナがこの程度で治まったからよかったけど、もっと慢延してたら人工呼吸器不足で私なんか死んでたかもね。

夫 それにしても岩手県はどうしてOなんだろうね。たいしたもんだな。

# 皆さんの声を一般質問で、市政へ反映!

市政への思いを高橋かつおまでお寄せください (TEL・FAX 0228-45-4249まで)

## 新型コロナ対策「新しい生活様式」とは (若柳Sさん)

**国は、新型コロナウイルス感染症対策として、「新しい生活様式」を提唱しているが、市長は、市民生活への影響をどのように認識しているのか。**

**回答** 新しい生活様式は、常に人との距離を考える行動が求められ、行動が制限されることから不便を感じると思うが、感染拡大防止に向け「くりはら新生活スタイル」として提唱・定着させたい。

**「新しい生活様式」を基に、感染拡大予防ガイドラインは各関係団体が作成する事になっているが、栗原市の作成状況は。**

**回答** 市では、県を通じて関係する各省庁から出される通知等に基づき、それぞれ分野ごとにでき得る取組みを行っている。

**自治会活動の再開に向けた指針・対応策が必要であると考えるが。**

**回答** 自治会活動の再開に向け、感染予防対策として実施すべき基本的事項を作成し、自治会長等に本日(6/16)配布している。

**雨期を迎え、避難所での3密解消が大きな課題になっているが、栗原市の対応は。**

**回答** 感染防止のため、不特定多数が訪れる避難所を使用せず、自宅に留まる「自宅避難」や親戚・知人宅への「分散避難」の周知に努めていく。また、避難所で感染防止に必要な資器材、消耗品等は、早急に調達と備蓄を進めていく。

**カゼやインフルエンザが流行する、秋から冬にかけての第2波が心配されている。コロナウイルスを病院などの医療機関内に持ち込ませないためにも、栗原市医師会等との協力を得て、発熱外来診療体制の整備が必要と思うが。**

**回答** 県が中心となり検査体制も含めた医療体制について栗原市医師会などと協議が進められている。

**※新しい生活様式とは、感染拡大防止を行いながら、日常生活を取り戻すための方策(3密回避)を一人一人が考えて行動する事だと思います。ワクチン・治療薬が早くできる事を望みます。**

## コロナ対策支援策の執行状況と防災無線の活用を (栗駒Kさん)

**新型コロナウイルス感染症の影響に伴う、各種支援策の執行状況は。**

**回答** 6月12日現在で、1人10万円の特別定額給付金は、23,429世帯の申請に対し、支払いは21,150世帯(58,396人)で、58億3960万円、1事業者当たり30万円の新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金は、申請236件に対し支払い189件(5670万円)、協力金の対象にならなかった事業者を対象にした1店舗10万円の中小企業等緊急支援金は、申請247件に対し、支払いは77件となっている。

**※申請件数が、市で考えている数より少ない。対象事業者への周知を徹底するよう求めた。**

**コロナ対策に関する情報は、安全安心メールで発信されているが、パソコンやスマホを使用しない人は見る事ができない。防災無線の活用も検討すべきで。**

**回答** 連日、テレビや新聞等で大々的に報道されているため、防災無線による広報は行ってこなかった。市民の不安解消を図るため、適切な周知方法を活用していく。

## 官製談合事件から2年、入札の現状と課題は (金成Sさん)

**平成30年7月の官製談合事件以降、予定価格又は最低制限価格と一致した入札価格の実績はあったのか。**

**回答** 予定価格と一致した件数は、平成30年度は27件、令和元年度は16件、令和2年度は5月末で3件である。最低制限価格との一致はない。

**入札監視委員会の開催状況と審査件数及び委員会評価と各委員の意見内容について伺う。**

**回答** 令和元年11月に、低入札価格調査の対象となった案件や、予定価格及び最低制限価格に極めて近い案件から選んだ10件について審議がなされ、委員からは物品購入では公平性を保つため、機種及びメーカーを限定しない事や、参考見積の複数徴収、低入札価格調査制度の失格基準価格の見直しなどの提言があり、順次取り組んでいる。

## 原発事故から10年、放射能の現状は (栗駒Aさん)

**東京電力福島第一原発事故から10年目に入っているが、放射能による汚染稲わら、牧草の処理も進まず、汚染土壌も保管されたままである。牧草の放射能検査は、旧栗駒町及び旧金成町全域(個別検査)で今年も実施され、野生キノコやタラの芽、こしあぶら、各ダムの上流のイワナなども国の出荷制限がかけられたままで、イノシシやクマも同様である。検査結果と解除条件について伺う。**

- 回答**
- ①令和元年度の牧草の測定結果は、228検体中50Bq以下が215検体、50を超え100Bq以下が6検体、100Bq超えが7検体である。利用個別検査の解除は、地域内において50Bqを超えない事が条件である。
  - ②令和元年度では、原木シイタケ・原木ムキタケ・野生きのこの基準値越え(100Bq)はなかったが、たけのこは51検体中25検体、こしあぶらは10検体中6検体、たらのめは36検体中1検体で基準値を超えていた。
  - ③天然イワナの検査については、平成29年度から令和元年度までの3年間で56検体を測定したが基準値越えはなく、低下傾向にある。また、イノシシは、平成30年度で7検体、令和元年度で2検体を検査したが基準値越えはなかった。ツキノワグマは、平成30年度で2検体中1検体、令和元年度では6検体中1検体で基準値越えがあった。

**※栗原市内の放射能の現状やコロナ対応の避難運営の見直しが必要な中、女川原発再稼働の話だけが先行する事には反対です。**

**再発防止に向けた取り組みの1つである、「低入札価格調査制度」の活用状況は如何に。**

**回答** 令和元年度は、対象事業数15件の内、調査となった件数は10件が、落札者となった。令和2年度は5月末で、4件中1件となっている。

**「総合評価落札方式」の対象事業及び評価点の配分は如何に。**

**回答** 価格評価点が80点で、施工能力や地域貢献などは20点の100点満点である。実績は、平成30年3月の一迫総合支所駐車場整備工事以降行っていない。